

概要

心拍数は、自律神経の働きによって調節されています。安静時と深呼吸を行った時では自律神経の調節機能により、心拍数が変動します。この心拍数の変動の程度を調べることで、自律神経の状態を評価する検査です。心電図波形の R 波の間隔を用いて、その変動係数 (CV) を求めて評価することから、CVR-R と呼ばれています。



検査方法

手首、足首、胸部に電極を付けて心電図波形を記録した後、10 分間ベッド上で安静にいただきます。その後、安静状態と深呼吸状態でそれぞれ 100 拍分心電図を記録し、心拍数の変動を調べます。

検査で分かること

心拍数は自律神経の働きによって調節されていますが、糖尿病や起立性調節障害などにより自律神経の働きが弱くなると、調節機能がうまく働かず、心拍数が変動しにくくなります。安静状態と深呼吸状態の心拍数の変動を記録することで、自律神経の働きが弱くなっていないか、またその程度を評価しています。

注意事項

- ・ 検査前 2 時間程度の食事、運動、入浴、喫煙はお控えください。
- ・ 安静状態を保つことができない場合、自律神経の調節機能を適切に評価できない場合があります。
- ・ 不整脈のある方は正確な評価ができない場合があります。不整脈の程度によっては検査が実施できるか依頼医に相談させていただく場合があります。

所要時間

約 30 分程度

よくある質問

Q：10 分間安静にしている時に検査中眠ってもいいですか？

A：起きている時と眠っている時では、自律神経の調節が異なるため、検査中は眠らないようにしてください。担当技師が何度か様子を伺いますので、何かありましたらお伝えください。

